

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten

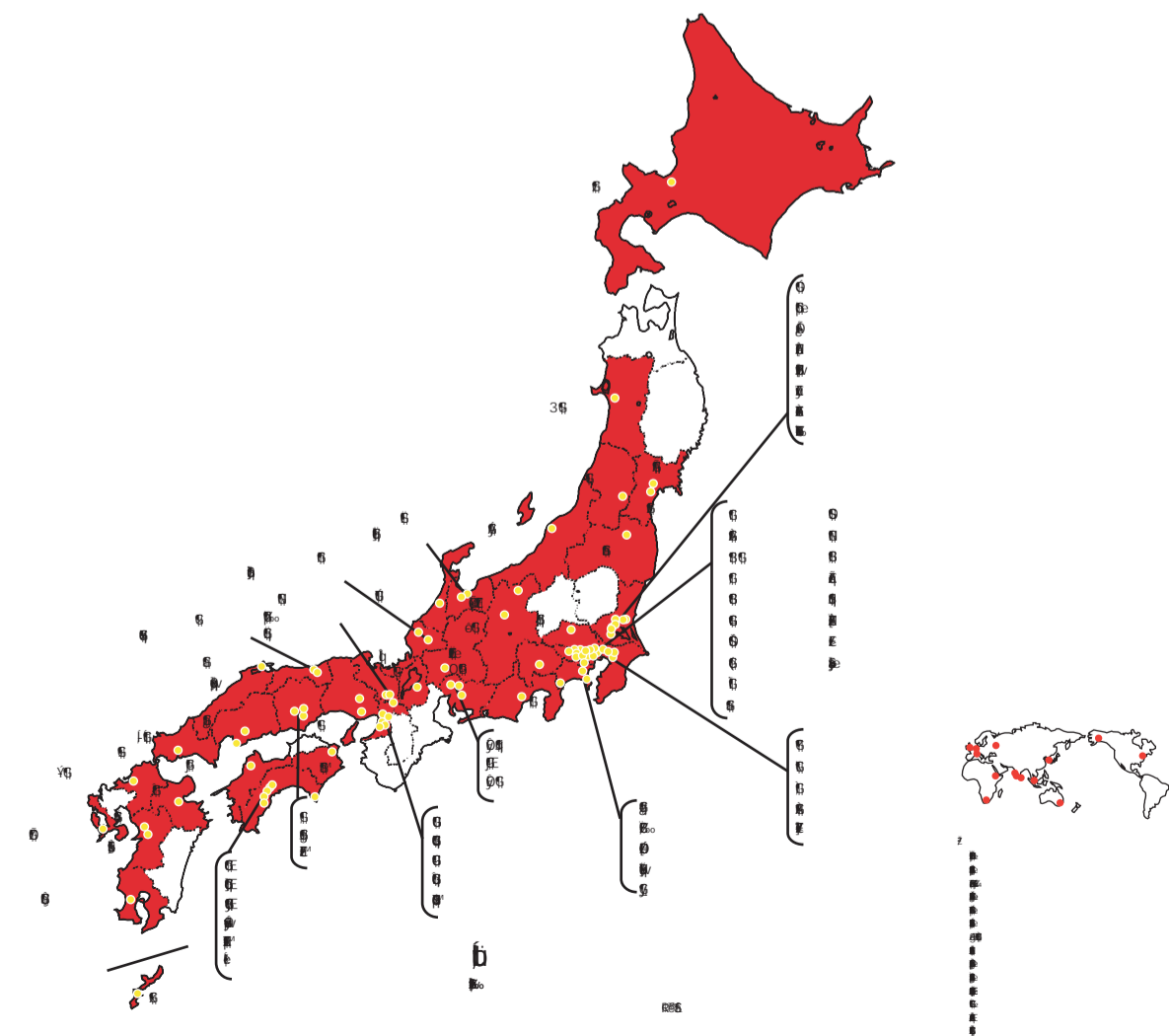
Amussiopecten

Amussiopecten

Amussiopecten praesignis

Mizuhopecten tokyoensis hokurikuensis

Magnetospirillum magnetotacticum



令和3年度 高知大学海洋コア総合研究センター

共同利用・共同研究成果発表会

プログラム

2月28日（月）

9:30-9:40 開会挨拶

- 高知大学 海洋コア総合研究センター長 佐野 有司
- 地球掘削科学共同利用・共同研究拠点 課題選定委員会委員長 池原 研

9:40-10:50（座長：池原 実）

- O-01 9:40-9:55 「西オーストラリア，ピルバラクラトン，クリバービル層の CL3 コアを用いた 31 億年前の海洋堆積環境の復元」
石川 浩平，清川 昌一（九州大学）
- O-02 9:55-10:10 「西オーストラリア，ピルバラ海岸グリーンストーン帯における 32 億年前，デキソンアイランド層の詳細観察による海底熱水系堆積場の解明」
井口 祐輔，清川 昌一（九州大学）
- O-03 10:10-10:25 「後期古原生代海洋における窒素循環」
元村 健人，清川 昌一（九州大学），池原 実（高知大学），佐野 貴司（国立科学博物館）
- O-04 10:25-10:40 「MALDI-TOFMS を用いたバイオマーカーイメージング：太古代の酸素発生型光合と試料汚染実験」
齋藤 大樹（東邦大学），山口 耕生（東邦大学・NAI），井尻 暁（神戸大学）
奥村 知世（高知大学）

10:40-10:50 討論

11:00-12:10（座長：奥村 知世）

- O-05 11:00-11:15 「親銅元素組成をもとにした白亜紀末隕石衝突直後の古環境復元」
丸岡 照幸（筑波大学），西尾 嘉朗（高知大学）

O-06 11:15-11:30 「白亜紀末の小惑星衝突後の海洋のストロンチウム循環の復活過程 (IODP Exp. 364 "Chicxulub Impact Crater")」

武藤 功太 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学・NAI), 石川 剛志 (海洋研究開発機構)
川合 達也 (マリン・ワーク・ジャパン)

O-07 11:30-11:45 「年縞湖成層から探る白亜紀中期および始新世前期“温室期”の数百年～数千年スケールの気候変動」

長谷川 精, 百瀬 弘基, 石川 航輝 (高知大学), 隈 隆成 (名古屋大学)
朝日 博史 (高知大学)

O-08 11:45-12:00 「インド洋 ODP Site 762C コアの地球化学：始新世超温暖化イベントへの示唆」

桑原 佑典 (東京大学)

12:00-12:10 討論

13:30-15:00 (座長：山本 裕二)

O-09 13:30-13:45 「津軽半島における赤色土壌：更新世末における土壌・風化環境の変動例」

小俣 彩, 吉田 孝紀 (信州大学)

O-10 13:45-14:00 「絶滅種イタヤガイ科二枚貝 *Amussiopecten praesignis* の生活史と殻成長特性の変遷」

川竹 慶, 近藤 康生, 長谷川 精, 西尾 嘉朗, 池原 実 (高知大学)

O-11 14:00-14:15 「更新統穴内層より産出した *Mizuhopecten tokyoensis hokurikuensis* (二枚貝, イタヤガイ科) の日成長量変動と酸素同位体比プロファイル」

吹本 樹, 川竹 慶 (高知大学), 山岡 勇太 (埼玉県立自然の博物館), 近藤 康生
長谷川 精, 西尾 嘉朗, 池原 実 (高知大学)

O-12 14:15-14:30 「中部日本内陸盆地における更新統～完新統堆積物コアの堆積相・古土壌解析」

葉田野 希 (長野県環境保全研究所), 川野 律歩, 吉田 孝紀 (信州大学)

O-13 14:30-14:45 「花粉組成変化に基づく過去4万年間のモンゴル～シベリア南部の時空間的植生変遷の復元」

今岡 良介, 長谷川 精 (高知大学), 志知 幸治 (森林総合研究所), 勝田 長貴 (岐阜大学)
Niiden Ichinnorov (モンゴル古生物地質研究所), 村山 雅史, 岩井 雅夫 (高知大学)

14:45-15:00 討論

15:10-16:40 (座長：朝日 博史)

- O-14 15:10-15:25 「島根県簸川平野の年縞堆積物を用いた XRF コアスキャンによる中期完新世の古環境復元」
香月 興太, 三浦 伊織 (島根大学), 中西 利典 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
瀬戸 浩二, 齋藤 文紀 (島根大学)
- O-15 15:25-15:40 「秋田県田沢湖湖底堆積物のシルト層・砂層の特徴」
石山 陽子, 石山 大三 (秋田大学)
- O-16 15:40-15:55 「諏訪湖における堆積物の風化と供給源変遷：最終氷期以降の堆積物の化学組成からの考察」
川野 律歩 (信州大学)
- O-17 15:55-16:10 「常念山脈における岩石風化；碎屑物供給源地における風化環境の例」
上山 瑛梨佳, 吉田 孝紀 (信州大学)
- O-18 16:10-16:25 「貝形虫 1 殻ごとの酸素同位体比分析による中海の数日から数週間の底層塩分変動」
山田 桂, 藤原 天音 (信州大学)
- 16:25-16:40 討論

16:50-18:00 (座長：浦本 豪一郎)

- O-19 16:50-17:05 「マンガンクラストの縞状構造に記録される氷期-間氷期サイクルに伴う地球環境変動」
高馬 菜々子 (高知大学)
- O-20 17:05-17:20 「850°C 含水流紋岩質メルトの急減圧実験と発泡組織の X 線 μ CT 画像解析」
西脇 瑞紀 (九州大学), 松崎 琢也 (高知大学), 三輪 学央 (防災科学技術研究所)
- O-21 17:20-17:35 「Tagish Lake 隕石片の空隙率と衝突破壊閾値：D 型小惑星の衝突進化への示唆」
中村 昭子, 塩本 純平, 長足 友哉 (神戸大学)
- O-22 17:35-17:50 「プチスポット溶岩中の太平洋プレート構成物質の探索」
石井 輝秋 (静岡大学), 金子 誠 (深田地質研究所), 平野 直人 (東北大学)
町田 嗣樹 (千葉工業大学), 秋澤 紀克 (東京大学)
- 17:50-18:00 討論

3月1日(火)

9:30-11:00 (座長:カース ミリアム)

- O-23 09:30-09:45 「相対古地磁気強度推定の高度化への取り組み:南東太平洋チリ沖コアの例」
山崎 俊嗣, 李 嘉熙 (東京大学), 下野 貴也 (海洋エンジニアリング (株))
- O-24 09:45-10:00 「富山市六泉池の堆積物と走磁性細菌抽出試料の磁気特性」
石川 尚人, 茅野 琉杜 (富山大学)
- O-25 10:00-10:15 「堆積物形成初期に磁性細菌 *Magnetospirillum magnetotacticum* MS-1 が獲得する
残留磁化の系統的検討ー細胞の配向を抑制した系」
政岡 浩平 (九州大学), 諸野 祐樹, 富岡 尚敬 (海洋研究開発機構)
浦本 豪一郎, 山本 裕二 (高知大学), 大野 正夫 (九州大学)
- O-26 10:15-10:30 「モンゴル国南東部に分布する古第三系 Ergilin Dzo 層の古地磁気学的研究」
坂本 航汰, 畠山 唯達, 北原 優, 実吉 玄貴 (岡山理科大学)
Khishigiav Tsogtbaatar (Institute of Paleontology, Mongolian Academy of Sciences)
- O-27 10:30-10:45 「双子のラシヤン地磁気エクスカージョンー非軸双極子磁場の間欠的な卓越」
兵頭 政幸 (神戸大学), 中川 毅 (立命館大学), 松下 隼人 (神戸大学), 北場 育子,
山田 圭太郎 (立命館大学), ブラダック バラージュ, 三木 雅子 (神戸大学), リチャード
A. スタッフ (グラスゴー大学), ダニエーレ マクレアン (オックスフォード大学, スウォンジー大学),
ヴィクトリア C. スミス (オックスフォード大学), ポール G. アルバート (スウォンジー大学),
クリストファー ブロンク ラムゼイ (オックスフォード大学), 山崎 彬輝 (福井県里山里海湖
研究所), 北川 淳子 (年縞博物館), 水月湖 2014 プロジェクトメンバー
- 10:45-11:00 討論

11:10-12:20 (座長:山本 裕二)

- O-28 11:10-11:25 「古津波遡上範囲推定に向けた泥質津波堆積物認定手法の開発」
中西 諒, 芦 寿一郎 (東京大学)
- O-29 11:25-11:40 「陸域起源バイオマーカーによる津波痕跡の識別と浸水限界の再評価」
篠崎 鉄哉, 澤井 祐紀 (産業技術総合研究所), 池原 実 (高知大学), 松本 弾, 嶋田 侑真,
谷川 晃一郎 (産業技術総合研究所), 田村 亨 (産業技術総合研究所, 東京大学)

O-30 11:40-11:55 「日向灘スロー地震は九州パラオ海嶺が起こしているのかー表層からのアプローチ」
木下 正高 (東京大学), 橋本 善孝 (高知大学), 濱田 洋平, 金松 敏也 (海洋研究開発機構)
鹿児島 涉悟 (富山大学), 久保田 好美 (国立科学博物館), 瀬戸口 亮眞, 細川 貴弘
(高知大学)

O-31 11:55-12:10 「房総沖掘削コア C9010E に介在するテフラ層序研究の進捗と概要 ; 玄武岩質テフラの
給源」
青木 かおり (東京都立大学), 小林 淳 (東京都立大学, 静岡県富士山世界遺産センター)
村田 昌則 (東京都立大学), 高橋 尚志 (東京都立大学, 東北大学),
石村 大輔 (東京都立大学) 西澤 文勝 (東京都立大学, 神奈川県立生命の星・地球博物館),
鈴木 毅彦 (東京都立大学)

12:10-12:20 討論

13:30-15:00 (座長 : 氏家 由利香)

O-32 13:30-13:45 「田辺層群の古地磁気から推定される日本海拡大期の西南日本の移動様式」
星 博幸 (愛知教育大学)

O-33 13:45-14:00 「法科学における地質学」
川村 紀子 (海上保安庁 海上保安大学)

O-34 14:00-14:15 「伊豆小笠原弧東青ヶ島海丘カルデラ熱水域から得られた重晶石の年代測定」
石橋 純一郎, Man-Yin Tsang (神戸大学), 豊田 新 (岡山理科大学)
野崎 達生 (海洋研究開発機構)

O-35 14:15-14:30 「中生代白亜紀モササウルス類化石における歯と顎骨の結合関係」
三島 弘幸, 千葉 敏江, 見明 康雄 (鶴見大学)

O-36 14:30-14:45 「四万十川河川内におけるタカハヤの遺伝的多様性」
綿貫 乃愛, 関 伸吾 (高知大学)

14:45-15:00 討論

15:10-16:00 (モデレーター：岩井 雅夫)

総合討論

- ・ 第3期中期目標期間の期末評価結果
- ・ 第4期中期目標期間の実施計画
- ・ 施設整備状況
- ・ 議論

16:00-16:10

学生優秀発表賞表彰式・閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫

*共同利用・共同研究は、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て実施されています。